

## お取り付け手順

取り付け方法のビデオは [steadyrack.com/video](https://steadyrack.com/video) でご覧いただけます。

**Steadyrack - ステディラックをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。**  
**ステディラックは以下の手順でお取り付けが可能です。**

まず必要なものは、メジャー、電動ドライバー、適切なサイズのドリルビット、ボルトを締めるための10mmのソケットです。

付属品にはコンクリート壁や木材用の取り付けキットが含まれています。スチールフレームやその他の材料にステディラックをお取り付けの場合は、お近くのホームセンターなどで正しい固定部品を手に入れる必要があります。

石膏ボードへのステディラックの取り付けは推奨されません。

**注意：石膏ボードへの固定は推奨できません。**  
**ステディラックは木材、スチールフレームまたはコンクリート壁に固定する必要があります。**

### 手順

1. 取付ボルトの位置に印を付けます。
2. 図 1 を参照してください。

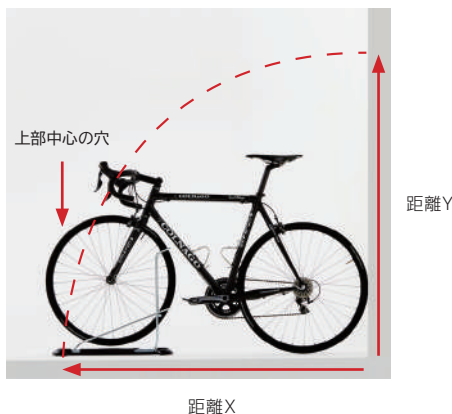
箱からステディラックを取り出し、エンドキャップを取り外してから自転車を立て、ステディラックを取り付けようとしている壁に直角に配置します。

壁に取り付ける高さを決めるために、自転車の後輪を壁に密着させてから、ステディラックを前輪の下に置きます。

床に置いたステディラックの上部にあるセンターホールを鉛筆でマークします。自転車をラックを片側に移動させ、メジャーを使って壁からマークまでの正確な距離を測ります。(距離X)

**壁からの距離(距離X)から25mm~75mmの間隔を加えることで、車体積載時に後輪がわずかに地面よりも浮いている状態で取り付けることが可能です。**

図 1



複数個ステディラックを取り付ける場合、同じ高さに取り付けることで、美しく保管することが可能です。全長が最も長い自転車に取り付け高さを合わせて取り付けをして下さい。

(距離X)を取り付ける壁に転記します(距離Y)。これで、取り付けをする正確な位置がわかりました。

(距離Y)の箇所へ1か所穴をあけ、壁にステディラックをボルトで仮止めします。ステディラックが水平、および垂直であることを確認し、残りの穴の部分を取り付ける壁へ鉛筆で印をつけていきます。(印をつける間ステディラックが動かないように注意して下さい) 壁からステディラックを取り除き、印をつけた部分へ穴をあけていきます。

木材の場合は直接ボルトで固定をします。コンクリート壁の場合は、あらかじめ穴を開けた箇所へ付属のプラスチック製のアンカープラグを挿入するか、お好みのアンカープラグを挿入してください。

図 2



コンクリート壁、木材へのボルト固定位置 スタッドボルト位置

### 内容品

- 1 x ステディラックバイクラック
- 1 x リアタイヤレスト
- 2 x エンドキャップ

### ステディラック取付キット

- 4 x 六角ボルト x M6 x 60mm
- 4 x アンカープラグ (コンクリート壁用)

### リアタイヤレスト取付キット

- 2 x 六角ボルト x M6 x 30mm
- 2 x アンカープラグ (コンクリート壁用)

これでステディラックを壁に固定する準備ができました。

付属品のボルトをステディラックの穴に挿入し、六角ソケット (10mm) や六角レンチで固定します。ボルトを締めすぎないように注意してください。

エンドキャップを上下に取り付け、あと少しで完成です。

### リアタイヤレストブラケットの取り付け

自転車をステディラックに積載し、リアタイヤレストを壁と後輪の間に置きます。リアタイヤレストの中心は、自転車の後輪の車軸と一致している必要があります。(図3参照) 鉛筆を使って、壁にボルト取り付け穴の位置をマークします。

ブラケットを置き、取り付けの2つの穴 (上下) を開けます。アンカープラグ (コンクリート壁のみ) とネジで固定します。これでステディラックを使用する準備ができました。

図 3



後輪のホイールの中心に印をつけます

## お手入れ メンテナンス 保証

### SteadyRackのメンテナンス方法

ステディラックを安全に未永くご使用頂くために、以下のメンテナンスとチェックを行うことをお勧めします。

- ステディラックの中心にある回転バーのナットのテンションを確認、調整します。  
中央の回転バー上下のナットは工場出荷時に5nmのトルク設定にテンションがかかっています。これは自転車をラックに積載した際に簡単に回転しないようなテンションになっています。13mmのソケットレンチまたは適切なスパナを用意します。取り付けブラケットを覆っているエンドキャップを取り外します。中央の回転バーに接続しているナットを、希望の張力に調整します。締めすぎないように注意して調整し、終わりましたらエンドキャップを再度取り付けます。締めすぎないように締め付けには電動工具を使用しないでください。
- 上下のアームが接続されている中央の回転バーに取り付いているナットを確認します。  
上下2つのアームは、ナットと黒い先端が付いたボルトで中央の回転バーに接続されています。これらのボルトは時間の経過とともに緩んでいきますので定期的に点検して締めてください。
- 壁への取り付けボルトが緩んでいないことを定期的に確認し、必要に応じて締めてください。

### クリーニング

ステディラックに汚れやゴミが付着していないことを確認し、時々ホコリを払ったり、乾いた布を使ったりして、クリーニングしてください。

### 素材

亜鉛コーティングスチール UPVCプラスチック

### 保証

Steadyrack(ステディラック)は購入日から12ヶ月間、製造上の欠陥及び材質の不備について製品を保証します。本保証書の違反に対する請求は、以下の条件で行わなければなりません。

- その欠陥が材料や製造上の欠陥のみに起因するものであること。
- ステディラックにいかなる方法でも変更や改造が行われていないこと。
- ステディラックの誤用、不適切な設置、その他の不適切な扱い、干渉、乱用による故障ではないこと。  
当社の仕様または指示に反する方法での使用であること。
- ステディラックはサプライヤーへ返却する必要があります。
- ステディラックは配送中に発生した、または配送を起因する事象を元に発生した損害や損失に対して責任を負いません。

上記の保証条件に従い、保証期間内にステディラックが何らかの理由で故障し、当社に返送された場合、ステディラックは以下の製品を修理または交換いたします。

上記に明示的に提供されている場合を除き、以下の事項に関して法律に基づくすべての保証および条件は以下のとおりです。

- ステディラックの商品性、説明、品質、適合性、デザイン、組み立て、設置方法の適合性。
- 材料または製造上の問題、またその他の問題は、法律で認められている範囲内で、ここに明示的に除外され、ステディラックは以下の事項を行うことはできないものとします。
- 本製品の供給、組み立てに起因する物理的または経済的な傷害の損失または損害、または結果的な損失または損害に対して責任を負うものではありません。
- ステディラックの設置または使用、またはその他の方法で発生した問題。

※保証はステディラック本体に関するものとし、ラブリコ 強力タイプ 2×4アジャスターは含まれません。

### お取り付け時にラブリコ強力タイプ2×4アジャスターをご使用の際の注意事項

平安伸銅工業 ラブリコ 強力タイプ 2×4アジャスター EXO-1\_EXB-1 をご使用頂くと、2×4材を天井へ突っ張り棒のように取り付けることが可能です。これにより壁に穴を開けずに、また壁が石膏ボードで強度不足の場合でもステディラックのお取り付けが可能になります。2×4材へのお取り付け時は取付ボルトは M6 x 30mm をご使用ください。

- お取り付けの際は必ずラブリコ 強力タイプ 2×4アジャスターをご使用ください。(左記商品以外のラブリコでは固定力が不足します)
- 自転車の最大重量は16キロまでです。
- 取り付けの高さ寸法は 2750mm以下です。
- 2×4材は必ず壁に沿って正しく取り付けてください。
- 取付ボルトは M6 x 30mm をご使用ください。
- インパクトドライバーを使用する場合は、回転トルクに注意してねじを締め付けてください。  
締め付けが強すぎるとねじが空回りする原因になります。
- ラブリコ 強力タイプ 2×4アジャスター設置後、自転車の重さで調節ねじが緩む可能性があります。  
自転車を載せた状態で調節ねじを確認して圧着固定してください。
- 天井や床材の構造・強度等によっては、天井や床材が変形し、緩む可能性がありますので、  
取り付け2～3日後、その後も週に1回程度定期的に取り付け状態を確認してください。  
ゆるい場合は調節ねじを上から見て時計回りに回し、天井と床に圧着固定させてください。
- ご使用中に2×4材がズレた場合は、安全のために自転車を降ろし、2×4材を元の位置に戻してから再度取り付け直してください。

その他ご使用方法、注意事項につきましては、ラブリコ 強力タイプ 2×4アジャスターの取扱説明書に従ってご使用ください。

